

元

熊本銀行頭取の竹下英さんが「私の銀行員物語―ひたすら『前へ』」を上梓した。2022

年9月から熊本日日新聞に連載された「わたしを語る・私の銀行員物語」を再構成した本になる。読みやすい筆致で、幼少期や学生時代、47年にわたる銀行員時代のこと、家族への感謝の気持ちがこもった一冊だ。

「2021年3月末に熊本銀行を退任し、古希を迎えた機会に、今までの人生を振り返って自伝を書いてみよう」と思い立ちました」

さっそく原稿用紙に向かい、わずか半年で書き上げたという。初めての読者は95歳の父親。「父はとても楽しみにしていて、夜遅くまで読みふけることもあったようです。赤字で



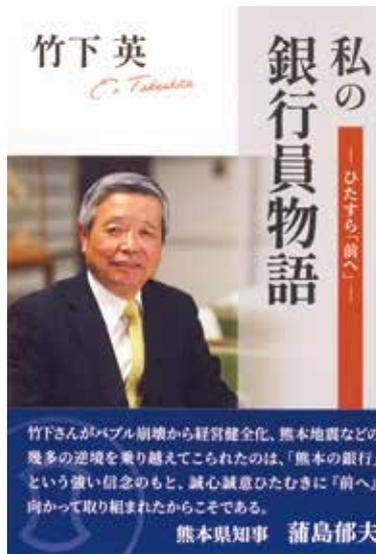
熊本中央高等学校の理事長室でインタビュー。相手を包み込むような柔らかな笑顔が印象的だ

書籍紹介

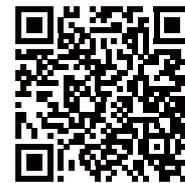
『私の銀行員物語』

―ひたすら「前へ」―

竹下 英



熊本日日新聞連載「わたしを語る 私の銀行員物語」(2022年9月25日～11月13日までの47回)に加筆修正して書籍化。著者の竹下英氏は、1974年に熊本相互銀行に入行。熊本銀行、熊本ファミリー銀行、再び熊本銀行と4つの行名を経て頭取に。バブル崩壊後の苦闘も経験した。金融機関が辿った激動の時代の中で、愚直に「前へ」と進み続ける著者の歩みを振り返る。熊本日日新聞社発行 1,430円(税込)



←「熊日出版」
ネットで注文は
コチラ

※熊本県内の書店でも
お求めいただけます

添削されて戻ってくることもありま
した(笑)」

自伝の存在を聞きつけた熊本日日
新聞社から「ぜひ熊日日で連載を」と
もちかけられ、新聞連載が始まった。

バブル崩壊後の不良債権処理、公
的資金導入をめぐる金融監督庁との
折衝、FFG誕生、熊本地震など、熊
本の金融関係史として興味深いのは

もちろん、頭取になるまでのサクセス

ストーリー、夫婦愛、家族愛など読み
物としても楽しめる。中には奥様と
は出会って3カ月でプロポーズしたと
いう恋愛小説のようなエピソードも。

「銀行を退任後に『パートナー！オ
ブ・ザ・イヤー』で二人そろって表彰さ
れたのは良い記念になりました。今
は妻と登山を楽しんでいます」



インタビューにはFFGビジネスコンサルティングの諸隈行員も同席。竹下さんが熊本銀行頭取を務めていた頃のFFG調査月報「トップ」に聞く担当者で、当時の話で盛り上がった

2023年7月、ホテル日航熊本で「私の銀行員物語」出版記念、並びに旭日小綾章受章祝賀会」を開催した。「娘から『まるでお父さんの生前葬みたいね』って言われました(笑)。死んだらお礼なんて言えませんが、お世話になった方々に直接感謝の気持ちを伝えられて良かったです」
現在、竹下さんは熊本中央高等学校と坪井幼稚園を運営する学校法人加寿美学園の理事長、公益社団法人熊本法人会会長を務める。銀行退任後も「熊本のために」という想いは変わらない。そう遠くない日に続編「私の銀行員物語―その後の私―」が出るのではないかと期待している。

竹下英(たけした・えい) 1951年生まれ、72歳。熊本県山鹿市(旧鹿北町)出身。明治大学法学部卒業後、熊本相互銀行に入行。旧熊本銀行、熊本ファミリー銀行を経て、2018年3月FFG・熊本銀行頭取を退任。現在は学校法人加寿美学園理事長、公益社団法人熊本法人会会長を務める。趣味は山登り・ゴルフ・古書店巡り。

”

人間が持つて生まれた才能にはそれ程の差はないと思っております。その後の努力と環境が人を成長させていき、人財を育てていくものだと思います。

“



Profile

竹下英(たけした・えい) 1951年生まれ、72歳。熊本県山鹿市(旧鹿北町)出身。明治大学法学部卒業後、熊本相互銀行に入行。旧熊本銀行、熊本ファミリー銀行を経て、2018年3月FFG・熊本銀行頭取を退任。現在は学校法人加寿美学園理事長、公益社団法人熊本法人会会長を務める。趣味は山登り・ゴルフ・古書店巡り。